



# 高輪だより

平成29年 春休み号

港区立高輪幼稚園  
園長 新山 裕之

## ＜お別れ会は、ありがとうのパーティー＞

今年も異学年の交流を深めてきた子どもたちは、互いに相手のことを思って、お別れ会を企画したり、プレゼントを作ったりしました。年長へお礼やお祝いの気持ちを込めて、年中からは手作りの写真立て、年少からはペンダントを手渡しました。年長の修了記念品は、樹木の看板です。一緒に踊ったり、様々な出来事をスライドショーで見たりして、一年間の思い出を振り返る幸せに満ちた会となりました。うめ組手作りの白玉団子が入ったフルーツポンチをおいしくいただきました。

## ＜憧れや思いやりの心が受け継がれる日々＞

16日の修了式では、全員が立派に修了証書を受け取り、お別れの言葉や歌も自信をもって披露し、大きな拍手をいただきました。うめ組は事前の練習も含めて、上手に修了式に参加しました。修了式後の花道での見送りでは、昨年以上に年長児への感謝や大好き！という気持ちがいろいろな姿で見えました。ここ数年積み重ねてきた異学年の交流がしっかりと定着し、子どもたちの心の育ちを実感できた、うれしい一年でした。

## ＜一年間お世話になりました＞

修了式で、年長児は地域の方々に「守ってくれてありがとうございます」とお礼をお伝えしました。最後の弁当へのお礼やサポート保育の金津先生への自発的なお礼など、感謝の心を自然に伝えることができる高輪の子たちを誇りに思います。そして、その心を受け継いだ弟妹たちも、終業式で進級証をいただきます。先輩から受け継いだ優しい心は、新しい弟妹たちへのかかわりに反映することでしょう。

そして、全てを支えてくれた保護者の皆様に、改めて深く感謝いたします。本当にありがとうございました。



年長児は修了記念の樹木の看板を作りました



全員が参加して真剣に修了式の練習



花道でみんなに送っていただきました



最後のランランタイムを楽しんだ、3、4歳児

・・・自然の移ろいに心を寄せて・・・

高輪の  
二十四節気

都会でありながら、歴史のあるこの街には、神社仏閣などに大きな木々があり、高輪幼稚園にも豊かな緑があります。今年度もそんな高輪の街や園内外の自然の移り変わりに心を寄せて、「高輪の二十四節気」をお届けしてきました。それは、身近な自然とのかかわりが、子どもたちの心を育てることにとっても大切だと思うからです。園庭の桜のつぼみも開き始め、子どもたちの成長を喜んでくれているようです。

先日、「PTAの歌」の作詞者である秋元節子さん（昭和52年度父母の会副会長）からお電話をいただきました。偶然、高輪幼稚園のHPの園だよりの「たかなわいまむかし」のコラムで「PTAの歌」が今も歌い継がれていることをご覧になり、感激してご連絡くださいました。作曲者の藤枝美保子さん（昭和52年度PTA会長）は、残念ながら数年前にお亡くなりになられたそうですが、きっと「たかなわん」と一緒に、これからも、空の上であのすてきな歌を聞いてくださることでしょう。



たかなわんたちのかわいいイラストは  
修了児保護者 平野敦子さん作